

# 兜を被って勇ましく!?



俺も男だ! やるときゃやるぞ!! 強そうに見えるだろ?



兜なんて、折り方忘れとっ たわ...ふぁふぁふぁ~



藤の花を見物しながらお茶したよ!



## ナイス・デイ利用状況 (定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	10名	10名	10名	10名	8名	8名

## ナイスな勉強会...「茶話会」

- N:「この前のミーティングのまとめっておかしくない?」
- M:「はあ?? 私は良いと思って作ったんだけど、何がおかしいの(怒)!」
- N:「だって、私が重要だと思えることが書かれてなかったもん。Mちゃんの視点だけで捉えて書いたでしょ!」
- M:「ええ...。何が足りなかったと言うの? 実際に記憶していることをまとめただけなのに...」
- O:「まあまあ...。みんな大事だと思うところって違うんじゃないですかあ。」
- S:「だから意見聞いてみないと不安になるし、皆がどう思っているのかなんて分かんないですよえ。」

4月13日から、週1回の茶話会(ミーティング)を行うことにしました。今までは各スタッフそれぞれが気になった要点を自分のファイルに書き込み、全体のまとめは、担当スタッフの筆記内容と記憶を頼りに、文章として作成していました。その報告書を見ながら、スタッフ同士が何気に上記のような会話をしていたのです。

それ以降、どの話題も重要だと考え、毎回1時間~1時間30分の茶話会を録音し、全ての会話をそのまま文章にして記録を残すようになりました。

そのおかげで、徐々にですが、自分自身の話し方の癖に気付いたり、物事を文章で再確認することで、いろいろな物事を客観視することができるようになってきました。

同じ介護職に就く者同士でも、見ているところや感じ方が全く違っていることにも気付かされ、改めてその者の生活歴や性分で捉え方がこんなにも変わるものなんだ...と感心。

自分の癖を知る(自己認識する)ことで、他の人の意見を多方面から見直すきっかけにもなりそうです。

茶話会を開始してまだ1ヶ月ですが、茶話会だからこそその重要性を見出せていますよ!

## ケアマネ一年生?? 第5話

注:このコーナーに掲載される話はスタッフの実話です。

3月6日(研修6日目)、実務研修最大の難関(?)である、膨大な量の課題を提出する日。研修受付は最終が9:50。なーのーにい、私といえば、当日の9:00ギリギリまで提出課題の準備に追われ、バタバタと出掛け、名古屋高速を使い、会場に到着したのは、9:50ジャスト!!(ひゃあ~、欠席扱いされるところだったあ~(汗))だって、ものすごい量の書類を整えるんですよ!!しかも、コピーする枚数も半端じゃないんです!!(って、まあ、余裕を持って準備をしておけばこんなことにはならないんですね。はい。自業自得...。)

しかし、宿題なんて十数年ぶり??というくらいお久しぶりで、取り組み方すら忘れちゃっていたくらいです。課題には、実習報告書、自己評価表、基本情報(事例ケースの概要)、認定調査票、課題分析表(アセスメントシート)、実習ふり返り用(概要まとめ)、居宅サービス計画書第1表・第2表・第3表、サービス利用票簡易版、社会資源調査票と、訳の分からなくなりそうなものばかり。

知り合いに「ケアマネの研修のために調査・面談、プランを立てさせて~」と頼み込み、いざ取り掛かってみたら、なんて記入したらいいのか殆ど分からず、テキスト見ながら、ひや汗をかきながら...、参りましたよ、ホントウに...。

“社会資源調査”なんていう課題もあって、対象者の近隣にあるサービス事業者の種類やその特徴を調べるのですが、これもねえ、...「知っている限りでいいのかなあ~」なんて甘~く考えていたら、とんでもなかった。自分の知っている限りというのが、どれだけ世間が狭かったのか、改めて思い知らされたって感じでした。課題を終えて思ったこと。

知り合いのことにしても、社会資源にしても、実際に、書式の項目にしたがって記入しようと思うと、知らないことだらけで、いろいろなことを一から質問したり、調べたりと、とってても時間がかかってしまい、「知っているつもりって恐ろしい」ということに気付きました。こんなことでどうするかねえ。

課題提出の結果? その日のうちに呼出されなかったから、合格ラインに届いたということかな... (笑)

## ナイスな手作業

~ 調理担当 ~

今日のメニューの“黄金チャーハン”  
「さあ、腕を振るってもらいましょ~」と、でで~んとテーブル中央にホットプレート登場!利用者さんに、力強く、手早く(?)混ぜてもらって、お昼ご飯作りを手伝っていただきました。スタッフは大助かり。だって、人数分のチャーハンを作るのって、結構重労働ですもの(笑)



## 編集後記

4月から予防給付が開始され、周囲では様々な話が飛び交っているようです。「定額を支払うのだから目一杯利用しなきゃ損。」や「利用者が求めることと、事業所がみて必要と思えることに食い違いがあって...」など、1ヶ月間の包括払い(定額制)だからこそ、要支援1・2に認定される方がどんどん増えてくると、いったい何を基準に考えるのか、...

さて、以前にも取り上げたことがある、「介護職全体の資格をヘルパー2級ではなく、介護福祉士にレベルアップする」という話題。取り組みがすでに開始されつつあります。ある講習機関では、今年の10月から、ヘルパー養成研修2級課程を打ち切り、介護職員基礎研修(500時間)を実施することになっています。現時点で、1年以上の実務のある人には350時間の免除区分があるということですが、実際に働いている介護スタッフに、いくら免除があるとはいえ、150時間もの研修時間を割くためには、相当の人員的・経営的余裕を持たなければとても難しいこと。その時間をどう確保するか、悩みますね。(H)

~ このトイレ、あそこのトイレ ~

「出掛けようと思うけど、どういうトイレがあるのか心配でなあ...。」という利用者さんとの会話から、この地域にある施設やお店などのトイレを探索し、掲載することになりました。(注:トイレの良し悪しを評価するための掲載ではありません。)

今回は、津島市民病院です。

車イス用のトイレです。



広々としていて、介助する人が一緒に入ってもスペースには余裕があります。